

# (公社) 日本地すべり学会関東支部 平成 30 年度第 2 回現地検討会 開催報告 —土石流対策の契機となった山梨県足和田災害—

## 1. 実施概要

関東支部では「実物を現場でじっくり見て・歩いて・さわってみる」ことをテーマに年 2 回の現地検討会を実施しています。今回は、山梨県県土整備部砂防課のご協力のもと、「土石流対策の契機となった山梨県足和田災害」を学ぶ現地検討会を行いました。

- (1) 開催日：平成 30 年 10 月 10 日（水）
- (2) 開催場所：山梨県富士河口湖町根場・西湖地区
- (3) 主催：(公社) 日本地すべり学会 関東支部
- (4) 協力：山梨県県土整備部砂防課
- (5) 参加人数：15 名（学会員 8 名，非会員 7 名，うち若手（35 歳以下）3 名）



写真-1 概要説明

## 2. 現地検討会の内容

山梨県足和田村（現 富士河口湖町）では、昭和 41 年 9 月の台風 26 号により大規模な土砂災害が発生しました。この災害は、多くの犠牲者・行方不明者を出しただけでなく、被災した集落が集団移転を余儀なくされるなど、周辺地域の生活に多大な影響を与えました。こうした結果を受け、全国的に土石流危険渓流区域調査が開始されており、本格的な土石流対策に着手する契機となった災害でもあります。現在は対策工が施工され、集団移転した集落跡地には当時の集落を復元した観光施設が設けられており、災害の記録を後世に語り継ぐとともに、地域の貴重な観光資源として活用されています。

検討会では、はじめに山梨県県土整備部砂防課の東谷氏から足和田災害発生時の被災状況や対策工事、施設の維持管理の状況などについてご紹介頂きました。続いて、参加者全員で「西湖いやしの里根場」の砂防資料館を見学し、当時土石流が発生した本沢川沿いの砂防堰堤などを視察しました。



写真-2 本沢川の踏査

## 3. おわりに

関東支部では、今後も現場に密着した現地検討会を実施していく予定です。現地検討会の開催地などにご希望がございましたら、担当幹事までご意見をお寄せください。本現地検討会の開催にあたり、山梨県県土整備部砂防課の関係者各位には事前の準備や当日の説明にあたり大変お世話になりました。ここに記して、厚く御礼申し上げます。

## 参考文献

山梨県砂防課（1994）：足和田災害とその後，砂防学会誌 Vol. 46, No. 6, pp. 40-45.

<https://doi.org/10.11475/sabo1973.46.6.40>



写真-3 現地検討会参加者の集合写真

（関東支部幹事 齊藤雅志・林 一成）